

令和8年度(2026年度)
教育行政方針

令和8年(2026年)3月

豊中市教育委員会

目 次

重点事項		2 頁
基本方向 1	保育や幼児教育の充実を進めます	3 頁
施策①	保育・幼児教育の充実	3 頁
施策②	保育・幼児教育の質の確保・向上	3 頁
施策③	乳幼児期から小学校生活への円滑な移行の推進	3 頁
基本方向 2	子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	5 頁
施策④	確かな学力と体力の向上	6 頁
施策⑤	豊かな人間性の育成	10 頁
施策⑥	小中一貫教育の推進	11 頁
施策⑦	ともに学ぶ教育の推進	11 頁
施策⑧	いじめ防止と不登校支援の充実	13 頁
施策⑨	学校における働き方改革の推進	14 頁
施策⑩	教育環境の整備	16 頁
基本方向 3	子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します	19 頁
施策⑪	活動や交流ができる機会の充実	19 頁
施策⑫	子どもたちの居場所づくり	20 頁
施策⑬	子どもたちの健全な育成	21 頁
基本方向 4	子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携・協働を進めます	22 頁
施策⑭	学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進	22 頁
(施策⑮)	（コミュニティ・スクールの導入）	—
施策⑯	家庭や地域の教育力向上の支援	24 頁
施策⑰	地域での子育て環境づくり	25 頁
基本方向 5	生涯を通じた学びの機会の充実と成果を活かせる場や機会づくりを進めます	26 頁
施策⑱	学びの支援と学習機会の充実	26 頁
施策⑲	地域における学習活動等の推進	27 頁
施策⑳	（仮称）中央図書館を核とした生涯学習推進拠点の整備	28 頁
基本方向 6	文化芸術・スポーツの振興、歴史・文化資源の保全・活用を進めます	29 頁
施策㉑	歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興	29 頁
施策㉒	スポーツの振興	30 頁

「豊かな夢を子どもたちに ともに描く学びと創造のまち とよなか ～大きな夢を抱いて ほがらかに生きよう～」を基本理念とする第 2 期豊中市教育振興計画を着実に推進するため、年度ごとの教育行政方針を定め、子どもから大人までのつながりを大切にしながら、教育施策を効果的・効率的に進めます。

なお、令和 8 年度(2026 年度)の教育行政方針では、次の取組みを重点事項として位置づけます。

	重点事項	施策	参照頁
1	教育ダッシュボードの全校展開	施策④	8 頁
2	児童生徒一人一台の端末更新	施策④	8 頁
3	小学校給食費の無償化	施策④	9 頁
4	別室登校支援員の全中学校派遣	施策⑧	13 頁
5	学びの多様化学校の開校準備	施策⑧	14 頁
6	部活動地域展開支援準備	施策⑨	15 頁
		施策⑪	19 頁
7	学校施設の整備	施策⑩	16 頁
8	放課後こどもクラブの運営	施策⑫	20 頁
9	社会教育施設の利用促進	—	—

以下、「教育振興計画」の施策体系に沿って、令和 8 年度(2026 年度)の教育行政の主な取組みを掲げます。

また、施策の実現に向けた取組みの進捗状況を把握するための指標を設定し、年度終了後に豊中市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施します。

(注) 設定する指標は、基本方向でめざす姿に対しては「達成指標」(最終的に到達したいゴール)、施策ごとの取組みに対しては「到達指標」(達成指標に至るプロセス)とします。

(注) 本文や指標欄に表記した「小学校」には義務教育学校前期課程を、「中学校」には義務教育学校後期課程を含みます。

基本方向 1 保育や幼児教育の充実を進めます

<第2期豊中市教育振興計画にてめざす姿>

- 子どもが安全に安心して遊びや学びに向かえ、一人ひとりの個性や創造力を伸ばせる教育・保育の環境が整っていること
- 就学前の子どもが発達段階に応じて質の高い保育及び幼児教育を受けていること
- 乳幼児期から義務教育期間まで発達段階に応じた連続性のある教育・保育が提供され、義務教育段階へ円滑に接続されていること

達成指標	令和8年度目標	令和6年度実績
年長児を対象として学校体験を実施した小学校数	維持	39校

注釈)「学校体験」:年長児が小学校を訪問し、小学校1年生が案内や学校生活の紹介等を行うことにより、年長児は小学校の雰囲気を見学・体験し小学校生活の見通しを持ち、小学生は年長児との交流を通して自己の成長を実感する取組みのこと。

※施策①から③の主な取組みは市長部局で所管しており、教育委員会で進める取組みを記載します。

①保育・幼児教育の充実

②保育・幼児教育の質の確保・向上

③乳幼児期から小学校生活への円滑な移行の推進

【架け橋期のカリキュラム】(学校教育課) **継続**

子どもたちの学びと育ちの連続性を大切にした、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組みの充実に向け、幼保こ小連絡協議会に架け橋期のカリキュラムの考え方を整理検討するための部会を設置します。

また、17の幼保こ小ブロック連絡会ごとに、架け橋期のカリキュラムの作成に向けた取組みを進めます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
架け橋カリキュラム検討部会の実施回数	2回	—

注釈)「架け橋期」:義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間のこと。幼児教育と小学校教育を円滑につなぎ、子どもが小学校生活へスムーズに移行できるようにするための重要な期間とされている。

【就学相談】（児童生徒課）継続

支援を要する子どもについて、子どもの状態を把握し、保護者へ支援教育に関する情報を丁寧に伝える等、円滑に小学校生活へ移行できるように、就学前に就学相談を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
就学相談件数	維持	431件

基本方向 2 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます

<第2期豊中市教育振興計画にてめざす姿>

- 自らの課題を見つけ、学び、考え、判断し学習の意義を共有しながら「生きる力」を育む教育が実践されていること
- 小学校から中学校への円滑な移行をめざし、すべての中学校区で義務教育9年間を見通した一貫性のある教育が実践されていること
- ICTを活用し災害や不登校等においても学びが保障されると共に、児童生徒一人ひとりの能力に応じた学習が展開されていること
- 道徳教育や読書等を通じ、豊かな人間性を育む教育が実践され、社会生活を営むための基本となる力が育成されていること
- 学校図書館が学習情報センター、読書センター、教員支援センターの機能を担っていること
- 障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育が実践されるとともに、帰国・渡日等児童生徒等外国にルーツを持つ子どもへの支援が推進されていること
- いじめの未然防止・早期発見・迅速な事案対処が実施され、児童生徒にとって安心できる学校となっていること
- 学校における働き方が適正化され、教職員がゆとりをもって児童生徒と向き合う時間があること
- 小中学校の学校規模や通学区域が見直され、より充実した教育環境が提供されていること

達成指標	令和8年度目標	令和6年度実績
「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：82.6% 生徒：81.9%
正答率が全国平均を上回った設問の割合（全国学力・学習状況調査 教科に関する調査（国語、算数・数学））	増加	児童：80.0% 生徒：93.5%
「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間等になっていた。」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：81.8% 生徒：77.9%
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：80.7% 生徒：71.3%
学校図書館での一人あたりの貸出冊数	増加	56.4冊
「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：90.9% 生徒：89.6%
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：94.3% 生徒：94.2%

「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：72.8% 生徒：63.9%
「学校に行くのは楽しいと思う」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：82.5% 生徒：80.3%

④確かな学力と体力の向上

【授業改善による学力向上】（学校教育課）継続

市立学校 16 校を確かな学力育成モデル校として指定し、主体的・対話的で深い学び、義務教育 9 年間を見通した系統的な授業改善による確かな学力の育成を図ります。

確かな学力育成モデル校には指導主事が伴走支援を行い、その取組み実践を、学校公開や市が行う連絡会等を通して普及・発信し、市域全校での授業改善の一層の具体化を図ります。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
モデル校への指導主事の訪問による指導助言回数	200 回	—
モデル校の学校公開実施回数	16 回	—
モデル校において「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合	80%	—

（参考）令和 7 年度（2025 年度）モデル校（4 校）実施のため、令和 8 年（2026 年）1 月末時点で、指導助言回数 70 回、学校公開 6 回、アンケート数値 79.5%。

【体力の向上】（学校教育課）継続

各小学校が児童の体力課題等に応じて選択した内容の体育授業に対して専門の指導者を派遣する「小学生体力づくり事業」を実施し、教職員の指導力向上、及び、児童が運動の楽しさや喜びを味わう機会の充実による児童生徒の体力向上を図ります。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
小学生体力づくり事業の実施により「(以前より) 運動やスポーツをすることが好きになった」と回答した児童の割合	維持	80.9%
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」という設問に、好き・やや好きと答えた児童生徒の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）	増加	児童 87.8% 生徒 81.3%

「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」という設問に、思う・やや思うと答えた児童の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）	増加	児童 83.2%
「中学校を卒業した後も、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」という設問に、思う・やや思うと答えた生徒の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）	増加	生徒 80.7%

【英語・外国語教育の推進】（学校教育課）継続

外国人英語指導助手（AET）を小中学校に派遣し、担当教員とのチーム・ティーチング体制による英語の充実、及び、研修等の実施による教職員の授業力向上を図ります。グローバル社会の担い手の育成に向けて、「生きた英語力」のさらなる向上を図る取組みを検討します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
第3学年の生徒の英語力に関して、CEFR A1 レベル（英検3級相当）以上を取得している（CEFR A1 レベル以上の英語力を有すると思われる）生徒の割合	増加	53.8%

【科学教育の推進】（教育センター）継続

教職員の科学教育に関する指導力向上のため、研究環境の整備を行います。

また、児童生徒の科学に対する興味・関心を高め、真理を追究する姿勢を育成するため、理科展や講座を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
理科教育講座等開催回数	30回	28回

【ICT教育の推進】（教育センター）継続

児童生徒の情報活用能力の育成や子ども主体の学びの実現に向けて、タブレット端末等のICTの活用に関する教職員研修を実施します。

授業や家庭学習、放課後学習における自学自習力の向上をめざして、AIドリルを活用します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
情報関係研修参加申込人数（延べ人数）	4,000人	3,830人

「授業で、PC・タブレット等の ICT 機器を週 1 回以上使用した」と答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童 76.8% 生徒 85.3%
「教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）等の ICT を活用した授業を 1 クラス週 1 回以上行った」と答えた学校の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	小学校 94.8% 中学校 100%

【ICT 環境の整備】（教育センター）**重点**

学力向上と心のケアの両面から、個々の子どもに応じたよりきめ細やかな支援や指導につなげることができるように、教育データをデータベース化したダッシュボードの分析機能を充実して全校展開し、その利活用を進めます。

第 2 期 GIGA スクール構想に向けて、令和 2 年度（2020 年度）に導入して 5 年を経過した一人一台タブレット端末のうち 30,000 台程度の更新を行います。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
教育ダッシュボードを子どもたち一人ひとりへのきめ細かな対応に、組織的に活用した学校の割合	100%	—
心のケア機能のアンケート回答率	100%	—
児童生徒端末再整備完了校数	全校	—

（参考）令和 7 年度（2025 年度）試行実施のため、令和 6 年度（2024 年度）実績なし

注釈）「心のケア機能」： 児童生徒アンケートや、欠席状況、健康診断結果等のデータから、心の変化の把握や、安心・安全が損なわれている可能性の高い児童生徒の早期発見・早期対応をめざすもの

【教職員の資質向上】（教育センター）**継続**

教職員の資質向上のため、研修受講履歴システムを活用して、経験年数や職務、授業力及び多様な教育課題に応じた教職員研修を実施します。あわせて、研修効果の検証を行うとともに、その結果を踏まえて、研修内容のさらなる充実を図ります。

また、教職員が他地域の実践に触れ、学ぶ機会を創出するため、豊能地区での相互交流研修を活用します。子ども主体の学びの実現に向けて、授業デザインの変容を図り、校内研究の推進や授業公開、研究成果物の情報発信等、実践の共有を進めます。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
教職員研修の回数	維持	172 回

教職員研修の延べ参加人数	維持	6,931人
教職員のうち研修受講履歴システムを活用して1回以上研修を修了した教職員の割合	100%	68.7%
教職員研修参加者アンケートにおける研修に対する満足度、充実度、活用度の各項目への肯定的回答の割合	100%	98.2%
公開授業・実践発表校数および参加人数	16校・200人	14校・140人

【教職員の人材確保】(教職員課) **継続**

地域に根ざした教育に資する人材を確保及び育成するため、豊能地区教職員人事協議会と連携した採用選考、人事交流、研修を継続します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
採用選考の合格倍率	小学校 4.0倍 中学校 5.0倍	小学校 3.4倍 中学校 4.4倍

【食育の推進】(学校給食課) **継続**

児童生徒への給食アンケートを実施し、その結果を給食内容や食育活動の改善に積極的に反映させることで、子どもたちの給食に対する満足度向上を図ります。これらの取り組みを通じて、学校給食への理解を深め、児童生徒の心身を育む食育を推進します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
給食アンケートでの満足度(小学校)	増加	72%
給食アンケートでの満足度(中学校)	小学校と同程度	34%

【安心安全な給食の提供】(学校給食課) **重点**

小学校及び中学校において、安全管理を徹底し、安心安全で質の高い給食を提供します。卵アレルギーのある児童生徒には、アレルギー対応食(卵除去食)を提供し対応します。

また、保護者の負担軽減と安定した給食提供のため、国による給食費負担軽減交付金(仮称)を活用し、小学校給食の無償化を実施します。そのうち、交付金を上回る食材料費については、市が補填します。あわせて、中学校給食についても、物価高騰分は引き続き市が支援し、保護者からの追加負担なく給食の質を維持します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
アレルギー対応食（卵除去食）希望者対応率	100%	100%
小学校給食の無償化	実施	—

⑤豊かな人間性の育成

【人権教育の推進】（学校教育課）継続

「人権教育基本方針」「豊中市人権教育推進プラン」に基づき、人権課題に対する理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を育み、人権を尊重し行動できる力を養うために、人権教育の充実に取り組みます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
人権教育啓発推進校数	維持	28校
人権教育啓発推進校における校内人権教育研修回数	増加	73回
人権教育研修参加人数（延べ人数）	増加	2,075人

【国際（理解）教育の推進】（学校教育課）継続

児童が広い視野から国際理解や多文化共生についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを行う態度の育成を図るため、地域在住の外国人ボランティアの協力により、小学校3～6年生、及び、一部の小学校2年生（試行実施）を対象とする各学年の発達段階に応じた体験活動を行う「小学生国際教育推進事業」を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
小学生国際教育推進事業を実施した学級の割合	増加	67%

【学校図書館教育の充実】（読書振興課）継続

学校図書館活用データベースを活用し、学校図書館を活用した授業記録の共有を通し、学校の読書活動や調べ学習を推進します。また学校司書の専門性を高めるため、学校図書館教育に係る研修等を実施し、司書教諭との連携により学校教育の充実支援に取り組みます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
学校図書館の児童生徒一人あたりの貸出冊数	58.4冊	56.4冊
学校図書館支援システム活用データベースアクセス件数	増加	20,843件
学校図書館を活用した授業実績	増加	4,486件

⑥小中一貫教育の推進

【系統的なキャリア教育の充実】（学校教育課）継続

子どもたちが学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に学び深めるキャリア教育の充実を図るため、総合的な学習の時間等において、9年間を系統立てて取り組む探究的なキャリア教育のプログラム「とよなか“未来へ”プログラム」を、小中学校1校ずつにおいて試行実施します。

「とよなか“未来へ”プログラム」では、小学校高学年は「とよなかの魅力」を、中学校は「自分たちにできること」をテーマとして、小学校から中学校へとつながる探究のプロセスを大切に、地域や社会と関わりながら学びを深めていくことをめざした「まとめプログラム」を設定します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
とよなか“未来へ”プログラム試行学校数	2校	—

<施策⑩再掲>

⑦ともに学ぶ教育の推進

【学校支援事業】（児童生徒課）継続

児童生徒への支援についての教職員の理解を深め、学校全体の支援教育に関する専門性の向上を図るため、教職員を対象とした支援教育研修や巡回相談、作業療法士の派遣を行います。

また、支援学級在籍児童生徒が入学後安心した学校生活を送れるよう、保育施設、児童発達支援センター等と連携しながら、就学相談や転入相談を適切に行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
支援教育研修の受講者アンケートで「今後の教育活動にいかすことができそうか」に「強く思う」「思う」と回答した割合	90%	—
小学校への作業療法士観察・助言派遣校数	全校	全校

就学相談実施件数	維持	431 件
----------	----	-------

【支援職員の配置】（児童生徒課）**継続**

支援学級在籍児童生徒数の増加が継続していることや、障害特性が多様化していることから、支援の必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性を踏まえた適切な支援のため、支援教育サポーターの配置の充実に取り組みます。

また、医療的ケアが必要な児童生徒の義務教育における学びの保障を進めるために、市立豊中病院との協定に基づき、安定した看護師の派遣を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
学校に配置している支援教育サポーターの数	167 人	118 人
医療的ケアが必要な児童生徒への看護師派遣率	100%	100%

【帰国渡日児童生徒への支援と在日外国人教育の推進】（学校教育課）**継続**

帰国・渡日児童生徒が自国の言葉や文化を学び、交流・居場所づくりを目的として、国際教室を開催します。また、日本語の通訳を必要とする帰国・渡日等児童生徒やその保護者が、学校生活における不安を解消し、円滑に過ごすことができるように、在籍する学校への通訳派遣を行います。

あわせて、初期の日本語指導が必要な帰国・渡日等児童生徒については、日本語初期指導センターで集中して、健康・安全・関係づくりの観点から、日常生活での緊急時に必要な表現や、学校生活での基礎的な語彙や知識の習得を支援します。

「豊中市在日外国人教育基本方針」に基づき、すべての子どもたちがさまざまな国や民族、文化について学び、ともに学び合う中で在日外国人教育及び多文化共生教育の推進に取り組みます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
日本語指導を受けている児童生徒へのアンケートにおいて「学校生活が楽しいです」と答える割合	100%	83%
日本語初期指導センターの受け入れ児童生徒数	増加	(参考)
教職員人権教育研修実施回数（外国にルーツのある子どもへの理解を深める内容の研修）	2 回	2 回
教職員人権教育研修参加者アンケートにおいて「受講された研修の内容は、今後の教育活動に活かすことができそうですか」（活用度）肯定的回答の割合	100%	97.7%

(参考) 令和7年度(2025年度) 試行実施のため、令和8年(2026年)2月末時点の受け入れ児童生徒数 50 人

⑧いじめ防止と不登校支援の充実

【豊中市いじめ防止基本方針の推進】（児童生徒課）**継続**

いじめの未然防止・早期発見・事案対処を行うため、教職員のいじめ問題に対する感度を高め、いじめが見過ごされることのないよう積極的にいじめを認知し、関係部局と連携しながら解消への対応を着実に進めます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
小中学校におけるいじめの解消率	小学校 100% 中学校 100%	小学校 93.6% 中学校 86.7%

【スクールサポーターの配置】（児童生徒課）**継続**

多様な教育的ニーズへの対応が求められている学校現場をサポートするため、全校にスクールサポーターを配置し、生活指導・学習指導に関する補助活動や児童生徒支援活動を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
スクールサポーター配当時間活用率	100%	100%

【不登校支援（創造活動）】（児童生徒課）**重点**

不登校児童生徒がさまざまな生活体験や人とのふれあいにより児童生徒の意欲を高め、学校復帰や社会的自立につながるため、青少年交流文化館いぶきにおいて不登校児童生徒及び保護者に寄り添いながら創造活動（不登校支援）に取り組めます。

また、近年増加傾向にある新規不登校児童生徒数を抑制するため、引き続き部分登校支援員を小学校に派遣します。別室登校支援員は、中学校10校から全校に派遣を拡大し、校内教育支援センター（別室）を利用する児童生徒の見守り支援を常駐で行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
新規不登校千人率	減少	14.2人
継続不登校千人率	減少	19.3人
学校以外の機関で相談・指導を受けていない不登校児童生徒数	減少	46人

【スクールソーシャルワーカーの派遣】（児童生徒課） 継続

いじめ、不登校、暴力行為その他の学校生活上の諸問題の背景にある生活環境の調整及び改善をはかるため、教育分野と社会福祉等の専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを学校に派遣します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
スクールソーシャルワーカーが支援した事案のうち、課題が解決又は好転した件数の割合	50%	45.6% 688/1,506件

【学びの多様化学校の設置】（学びの多様化学校開校プロジェクト・チーム） 重点

令和9年（2027年）4月に学びの多様化学校の開校をめざして、子ども一人ひとりのペースと気持ちに寄り添うように、生徒自身が学び方や過ごし方を柔軟に選べる環境づくりをしつつ、その子どもにとって、学びの多様化学校がより良い学びの場となるのかどうかを一緒に考えるような学校体験会や個別面談等の転入学手続きを実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
各教室の設備や教材等の整備	実施	—
転入学手続きの実施	実施	—

⑨学校における働き方改革の推進

【市費負担職員の配置】（教職員課） 継続

児童生徒一人ひとりの課題に応じた、きめ細かな教育活動を推進する指導体制の充実を図るため、常勤講師及び非常勤講師を配置します。また、教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、教員免許がなくてもできる事務の一部を担う教員業務支援員を配置します。あわせて、大規模校や課題がある学校において業務多忙となっている副校長・教頭の事務の一部を担い、本来の学校運営に専念できるようにするため、教頭マネジメント支援員を配置します。

「豊中市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、令和11年度（2029年度）での達成を目標に教員の負担軽減となる取組みを進めます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
学校教育充実支援講師配置校数	40校	27校

教員業務支援員配置校数	52 校	49 校
教頭マネジメント支援員配置校数	6 校 (配置基準対象校全校)	7 校 (配置基準対象校全校)
教職員の平均時間外在校等時間 (時間分/月)	減少	小学校 26 時間 49 分 中学校 36 時間 19 分
1 箇月の時間外在校等時間が 45 時間以下の教育職員の割合	増加 (参考)	小学校 83.9% 中学校 69.1%
年次有給休暇取得日数が年間 10 日以上の教職員の割合	増加 (参考)	小学校 89.2% 中学校 86.8%

(参考) 措置実施計画での令和 11 年度 (2029 年度) 目標値は 100%

【教職員の健康管理】(教職員課) **継続**

増加する教職員のメンタルヘルス不調への予防や休職からの復職を支援するため、長時間勤務職員への産業医による面談を実施し、臨床心理士による面談回数を維持しながら、復職した教職員のフォローアップを学校と連携して行っていきます。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
長時間勤務者で面談を希望する教職員の産業医面談	100%	100%
臨床心理士による相談件数	増加	47 件
ストレスチェックの受検率	増加 (参考)	74.2%

(参考) 措置実施計画での令和 11 年度 (2029 年度) 目標値は 90%以上

【部活動の地域展開】(学校教育課) **重点**

学校における働き方改革の視点を踏まえた部活動地域展開の仕組みの構築するため、認定地域クラブの試行実施を 17 団体に拡大します。また、ポータルサイトの構築等、持続可能な仕組みの構築に向けた課題整理と検討を進めます。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
地域クラブの認定数	17 団体	1 団体

<施策⑩再掲>

注釈)「認定地域クラブ」: 豊中市が認定要件及び認定手続き等に基づいて認定する、学校部活動を継承・発展させた生徒のスポーツ・文化芸術活動の実施主体となる地域団体等のこと。

【スクールネットシステムの再構築】（教育センター） **拡充**

情報セキュリティの強化を図り、円滑な校務処理を実現するために、教職員が業務で用いる校務用端末と学習用端末の統合と更新を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
スクールネットシステムの再構築	更新	—

【学校提出書類の電子化】（教育総務課） **拡充**

小学校全学年の保護者が学校へ提出する書類を電子化することにより、紙による運用管理事務の効率化を図り、教職員の負担を軽減します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
小学校における電子化による事務効率化が図れたとするアンケート結果	100%	—

<施策⑩再掲>

⑩教育環境の整備

【学校施設の整備】（学校施設管理課） **重点**

学校施設への老朽化への対策として標準的な学校規模の確保を前提とし、築後80年を超えないよう、築後60年が経過もしくは60年に近づいている学校施設について、順次整備を進めます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
個別改築計画策定	4校区	—
上野小学校の改築	設計	—

【学校施設長寿命化の推進】（学校施設管理課） **継続**

児童生徒にとって安全安心な学びの場を維持するために、地域の防災機能強化の観点からも老朽化対策を行い、子どもの学びを支える学校施設の環境改善に取り組みます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
新田南小学校の増築	工事	設計

西丘小学校体育館屋根防水工事	工事	—
校舎の外壁改修	外壁全面改修 2 校	—

【学校施設のバリアフリー整備】（学校施設管理課） 継続

すべての児童生徒が支障なく安心して学校生活を過ごすことができるように、校舎縦一系列トイレの改修等のバリアフリー整備を行います。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
校舎縦一系列トイレの改修工事实施校数	1 校	3 校
体育館トイレの改修工事实施校数	3 校	11 校

【民間プール施設での水泳授業実施】（学校教育課） 継続

学校プール施設の維持管理経費削減及び安定した水泳指導環境の確保に向け、小学校 4 校において、民間プール施設を活用した水泳指導を実施するとともに、その他の校区での実施拡大に向けて、民間事業者、公営プールの指定管理者等との調整を行います。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
民間プール施設を活用した水泳指導の実施校数	4 校	2 校

【学校教育活動にかかる経費の無償化（公費負担）】（学務保健課） 継続

公教育のさらなる充実、保護者の費用負担軽減、児童生徒が安心して学校教育活動に取り組めるよう、修学旅行費、行事費、ドリル・テスト等の副教材費を、引き続き無償化します。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
学校教育活動徴収金公費負担事業補助金の交付金額	増加	小学校 427, 993 千円 中学校 352, 489 千円

【学校への寄附の充実】（教育総務課） 継続

学校教育活動の広報発信を通じて、子どもたちの学び育ちへの応援・協力を寄附というかたちで

広く受け入れ、教育振興基金を子どもたちの学ぶ意欲・学力の向上推進に関する施設・備品の整備に活用します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
教育振興基金寄附金額	76,000千円	25,835千円

【不適切指導の未然防止及び再発防止】（教育総務課）継続

教職員による不適切な指導等の未然防止及び再発防止のため、生徒指導に関する相談を受付けて事実確認を行うとともに、客観的・専門的な観点から外部アドバイザーの意見を取り入れ、指導について検証し、結果について学校に報告を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
不適切指導の処分事案件数	0件	12件
不適切な指導に係る相談事案対応件数	16件	(参考)

(参考) 令和7年度(2025年度)実施のため、令和8年(2026年)2月末時点の相談事案対応件数14件

【児童生徒の健康管理】（学務保健課）拡充

児童生徒の熱中症予防対策のため、全校に給水機を設置します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
給水機の設置	全校	—

【学校提出書類の電子化】（教育総務課）拡充

小学校全学年の保護者が学校へ提出する書類を電子化することにより、提出枚数の減や提出にかかる時間の短縮化を図り、保護者の負担を軽減します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
小学校における電子申込率	100%	—

<施策⑨再掲>

基本方向 3 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します

＜第 2 期豊中市教育振興計画にてめざす姿＞

- 子ども・若者が夢を持ち、将来の社会参画に向かって学びや多様な体験を多彩に展開していること
- 家庭や学校以外の放課後等でも「子どもの居場所」が充実し、子どもたちが安全に自分らしく過ごせていること
- 困難を抱えた子どもや若者が安心して自分らしく生きていけるよう、行政内の部局連携をはじめ、地域や社会福祉協議会等の関係団体及び警察や子ども家庭センター等の関係機関連携が充実し、健全な育成のための環境が整っていること

達成指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
「将来の夢や目標を持っている」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：81.0% 生徒：62.4%
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」という設問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査）	増加	児童：80.7% 生徒：71.3%
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」に基づく児童生徒 1,000 人当たりの暴力行為発生件数	減少	小学校：1.9 件 中学校：3.8 件

⑪活動や交流ができる機会の充実

【部活動の地域展開】（学校教育課）重点

子どもたちが多様な活動に参加できる機会確保に向けた部活動地域展開の仕組みの構築するため、認定地域クラブの試行実施を 17 団体に拡大します。

また、ポータルサイトの構築等、持続可能な仕組みの構築に向けた課題整理と検討を進めます。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
地域クラブの認定数	17 団体	1 団体

＜施策⑨再掲＞

【系統的なキャリア教育の充実】（学校教育課）**継続**

子どもたちが学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に学び深めるキャリア教育の充実を図るため、総合的な学習の時間等において、9年間を系統立てて取り組む探究的なキャリア教育のプログラム「とよなか“未来へ”プログラム」を、小中学校1校ずつにおいて試行実施します。

「とよなか“未来へ”プログラム」では、小学校高学年は「とよなかの魅力」を、中学校は「自分たちにできること」をテーマとして、小学校から中学校へとつながる探究のプロセスを大切に、地域や社会と関わりながら学びを深めていくことをめざした「まとめプログラム」を設定します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
とよなか“未来へ”プログラム試行学校数	2校	—

<施策⑥再掲>

⑫子どもたちの居場所づくり

【午前7時からの見守り事業】（学校施設管理課）**継続**

保護者の多様な働き方等に対応しつつ、朝の子どもの居場所を確保するため、小学校において午前7時から校門を開門して、体育館や多目的室等で児童の見守りを実施します。また、保護者及び児童が安心できる居場所づくりのため、利用者満足度調査を実施して、調査結果を踏まえた取組みを検討します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
午前7時からの見守り事業の利用者満足度	維持	—

【放課後こどもクラブの運営】（学び育ち支援課）**重点**

放課後、帰宅しても保護者が仕事等で不在の児童に、学年を超えた適切な遊びや生活の場を提供し、多様な交流ができる力の向上等、児童の健全育成を図るため、クラブ室の増室と民間活力導入による運営体制の確保を引き続き行い、待機児童ゼロを継続します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
放課後こどもクラブの待機児童数	0人	0人
放課後こどもクラブ1室あたりの概ね児童数55人を達成したクラブ数の割合	100%	78.6%

【放課後等の児童の居場所づくり】(学び育ち支援課) 継続

学校を拠点としたすべての児童を対象とした居場所を提供するため、放課後及び春・冬休み期間中に小学校の校庭等の開放を行う放課後等の児童の居場所づくり事業(校庭開放)の全校実施を継続します。

また、放課後こどもクラブを利用できない高学年の居場所の提供と学習習慣の定着をめざして、5年生・6年生を対象に、放課後の学校の特別教室等を利用して、児童の自学自習を支援します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
放課後等の校庭開放の事業実施校数	全校(37校)	全校(39校)
放課後の学習支援の実施校数(小学校)	全校(37校)	全校(39校)

⑬子どもたちの健全な育成

【青少年交流文化館いぶき主催事業】(社会教育課) 継続

青少年が社会の中で人とつながり、学び、自立して将来を切り拓いていけるような力を育むため、高校との連携や高校生世代を中心とした若者への情報発信を行います。

また、土曜・日曜実施の様々な体験プログラムや活動等を通して、いぶきを拠点に大人への移行期にあたる青少年の豊かな育ちを支援します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
いぶき主催の青少年健全育成事業の参加人数	増加	492人

【青少年自然の家(わっぱる)野外活動体験】(社会教育課) 拡充

自然に対する理解や、自主性・協調性等を育むため、野外活動や自然体験の場としての機能を維持しつつ、民間企業との連携等さまざまな手法を取り入れた事業を展開します。

また、小中学校向けに、子どもの成長段階に応じた適切な活動事例やプログラムの紹介を行い、豊中市立学校によるわっぱるの利用を促進します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
利用者延べ人数	17,000人	13,926人
利用学校数	15校	3校

基本方向 4 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携・協働を進めます

<第2期豊中市教育振興計画にてめざす姿>

- 学校を拠点に家庭や地域等のコミュニティ全体で子ども達の育みを支える社会となっていること
- 妊娠期から学齢期以降まで地域社会全体で子育て家庭を見守る社会となっていること
- 地域コミュニティ全体で子育て・子育て支援の取組みができる社会となっていること

達成指標	令和8年度目標	令和6年度実績
地域学校協働本部組織率	80.0%	69.0%
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	全校	51校
地域学校協働本部が組織された校区のうち、学校支援コーディネーターが学校運営協議会委員として委嘱されている割合	100.0%	85.7%

注釈)「地域学校協働本部組織率」:本市では学校支援コーディネーターが配置された校区を、地域学校協働本部が組織された校区とみなしているもの。

⑭学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進

【学校・家庭・地域の連携協力推進事業】(学び育ち支援課) 継続

地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、「学校を核とした地域づくり」をめざす地域学校協働活動を円滑に進めるため、各学校に地域学校協働本部の機能を持つ学校地域連携ステーションを設置し、学校と地域を結ぶ橋渡し役として学校支援コーディネーターを配置します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
学校地域連携ステーション設置(学校支援コーディネーターの配置)校割合	80.0%	69.0%

【地域教育協議会】(学び育ち支援課) 継続

「地域の子どもは地域で育む」を目標に、学校・家庭・地域の教育コミュニティのネットワークを深めることにより、地域全体の総合的な教育力の活性化を図るため、地域教育協議会(すこやかネット)を中学校区単位で設置し、フェスタや子育て講演会、学校教育支援活動を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
地域教育協議会（すこやかネット）におけるフェスタ等事業の延べ参加人数	15,950人	15,302人

【とよなか地域子ども教室】（学び育ち支援課）継続

地域学校協働活動による体験機会の提供を目的に、各小学校区単位で実行委員会を設置し、放課後や土曜日等に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動等、地域の特性を生かした取組みを行うとよなか地域子ども教室を開催します。

また、こども家庭庁と文部科学省が推進する放課後児童対策パッケージに基づく、地域子ども教室と放課後こどもクラブの「校内交流型」での実施により、すべての子どもたちの参加促進を図ります。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
とよなか地域子ども教室への子どもの延べ参加人数	43,800人	36,678人
とよなか地域子ども教室実施校区数のうち、「校内交流型実施割合」	維持	100%

【学校運営協議会の支援】（学校教育課）継続

開かれた学校づくりを進めるため、学校ごとに設置された学校運営協議会（コミュニティ・スクール）にて、保護者や地域住民等の意向を把握して、学校運営に反映します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置校数	全校	51校

【教育相談業務】（児童生徒課）継続

児童生徒や保護者からの教育に関する様々な悩みや相談に対応するため、教育相談窓口での電話相談、来所相談でのカウンセリングやプレイセラピー・発音練習等を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
教育相談終結率	増加	61.9% 293/473件

（注）施策⑯コミュニティ・スクールの導入は、令和8年度（2026年度）に市内全校で達成します。

⑩家庭や地域の教育力向上の支援

【家庭教育支援事業】(学び育ち支援課) 継続

家庭における教育力の向上をめざして、学校に地域人材の親学習の講師を派遣し、児童生徒が親になる気持ちを疑似体験する親学習講座や、中学校区単位で外部講師を招聘した保護者向けの家庭教育講演会を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
家庭教育支援事業に係る講座(明日の親のための講座)等の参加人数	840人	677人

【家庭学習の支援】(中央公民館・学び育ち支援課) 継続

中学生を対象として学習習慣の定着をめざして、民間教育機関等の社会資源を活用し、生徒一人ひとりの学習理解状況に応じた学習を支援し、学びの場を提供します。

また、放課後こどもクラブを利用できない高学年の居場所の提供と学習習慣の定着をめざして、5年生・6年生を対象に、放課後の学校の特別教室等を利用して、児童の自学自習を支援します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
放課後・土日学習支援事業の実施校数(中学校)	17校	17校
放課後の学習支援の実施校数(小学校)	全校(37校)	全校(39校)
放課後の学習支援の利用登録児童数	744人	717人

<施策⑩再掲>

【就学援助】(学務保健課) 継続

経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対する支援を行うため、就学援助制度を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
就学援助に係るオンライン申請利用率	100%	99.0%
就学援助認定者数	維持	小学校 2,311人 中学校 1,314人

⑰地域での子育て環境づくり

【子どもをとりまく読書環境の整備】（読書振興課）**継続**

ブックスタート事業や中・高生へのサービスを通し、市内のすべての子どもが本と出会い読書を楽しむことができるよう、読書環境を整え、子どもの読書を支える活動を推進します。

また、地域の子育てを支援するため図書館職員が地域の子育てサロン等、市民の身近な場へ出向き、絵本の読み聞かせ講座や本の貸出を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
児童書の蔵書数	278,000冊	277,028冊
図書館職員による読み聞かせ講座等実施回数	34回	32回

【次世代育成講座】（中央公民館）**継続**

地域の多様な人材が主体的に参加して、地域ぐるみで子育て・子育て支援に取り組めるよう、人材の育成・支援のため、子育て・子育て親育ちや世代間交流等、次世代育成に係る事業を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
次世代育成講座実施数	増加	90

基本方向 5 生涯を通じた学びの機会の充実と成果を活かせる場や機会づくりを進めます

<第2期豊中市教育振興計画にてめざす姿>

- 生涯を通していつでも誰でも学ぶことができるように、多様な主体による連携・協働のもとで様々な学習機会が充実していること
- 学びを通じて多世代が交流し、高齢者の社会参加と子ども達の育みが促進されていること
- 新たな図書館ネットワークが地域の学びの拠点となり、学びに対する社会情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応していること

達成指標	令和8年度目標	令和6年度実績
公民館主催事業の開催回数	増加	1,241回
公民館の利用人数	増加	309,004人
公民館登録グループ数	現状維持	250
公民館の貸室稼働率	増加	43.7%
レファレンスサービスの受付件数	増加	1,254件

⑩学びの支援と学習機会の充実

【図書館活動・すべての人への資料提供事業】(読書振興課) 継続

図書館は地域の知の拠点として、すべての利用者に対し、個人及び地域活動での課題の解決や教養を高める学習活動につながる資料・情報提供を行います。

また、さらなる図書館利用を促進するとともに学びの機会を提供するため、作家を招いた講演会や自然・歴史・芸術等をテーマにした連続講演会を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
市立図書館における市民一人あたり蔵書数	2.5冊	2.5冊
図書館の年間利用人数 (BDSによる来館者統計)	1,535,730人	1,491,000人
講演会参加人数	200人	142人
地域資料デジタル化件数(累積)	7,000件	6,546件
図書館サービスに関する市民の声等で受け付けた件数のうち対応した件数	増加	43/89件

【課題別講座】（中央公民館）**継続**

市民の多様な学習意欲に対応し、生涯を通して学ぶことができる機会を充実させるため、環境学習事業、健康づくり推進事業、人権啓発事業等の講座を開催します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
課題別講座実施数	増加	160

⑱地域における学習活動等の推進

【公民分館活動】（中央公民館）**継続**

公民分館が実施する文化祭、体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信等、分館活動全般への支援を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
公民分館による講座の実施回数	維持	123回
公民分館による講座の参加人数	維持	2,433人

【地域・市民との協働事業】（読書振興課）**継続**

地域活動の拠点や市民の居場所として図書館が機能するように、市民交流の促進やコミュニティの活性化のため、螢池図書館で市民と協働でイベント等を企画・実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
螢池図書館と螢池公民館の連携事業の実施回数	維持	38回

【社会教育の推進】（社会教育課）**継続**

「豊中市の社会教育のあり方」をふまえ、社会教育の推進体制づくりに向けて、社会教育課・公民館・読書振興課に社会教育主事を配置します。

社会教育を担う地域人材の育成のために、社会教育機関が連携して令和6年度（2024年度）より実施している連携講座を継続するとともに、講座受講後の活動の場の提供や活動支援に取り組みます。

また、社会教育のあり方については、年度ごとに振り返りを行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
社会教育主事の配置数	維持	3人
連続講座延べ参加数	450人	400人

⑳ (仮称) 中央図書館を核とした生涯学習推進拠点の整備

【(仮称) 中央図書館基本構想の推進】(読書振興課) **継続**

市立図書館の新たなサービス網の構築及びまちの活性化につながるように、(仮称) 中央図書館の整備に向けて、曾根駅周辺まちづくりプロジェクト・チーム等関係部局と連携して検討するとともに、市民周知・意見聴取を行います。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
(仮称) 中央図書館基本構想、図書館みらい通信のweb ページへのアクセス件数	14,000件	13,116件

基本方向 6 文化芸術・スポーツの振興、歴史・文化資源の保全・活用を進めます

<第2期豊中市教育振興計画にてめざす姿>

- 郷土の歴史や文化への関心が高まり、地域への誇りと愛着が育まれていること
- 芸術家や市民と連携が活発化し、文化芸術に親しむ機会が充実していること
- 手軽にライフステージに対応した生涯スポーツに親しめる環境が充実していること
- スポーツを通して世代間交流や地域コミュニティが活発化していること

達成指標	令和8年度目標	令和6年度実績
文化財啓発事業参加者数	12,000人	11,658人

※施策②①から②②の主な取組みは市長部局で所管しており、教育委員会で進める取組みを記載します。

②①歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興

【文化財の保護】（社会教育課）継続

市内の文化財施設の維持・保全を図るとともに、公開・活用をすすめていきます。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
史跡等の公開件数	130件	117件
指定文化財数	維持	132

【郷土資料館の運営】（社会教育課）継続

豊中市の歴史・文化を身近に触れ合える場である郷土資料館を核として、市内文化財の調査・研究・展示公開・活用に取り組みます。

小中学校生や高校生・大学生の見学及び出前授業、教材提供等の授業支援を促進し、学校教育等との連携を進めます。また、他博物館等との共催事業を実施します。

到達指標	令和8年度目標	令和6年度実績
文化財関連事業参加者	12,000人	11,658人
文化財関連事業参加者のうち、「郷土資料館」の利用人数	9,000人	5,719人

「郷土資料館」を利用した学校数	20 校	18 校
出前講座（授業）件数	50 件	38 件
文化財関連事業参加者のうち、「原田しろあと館」の利用人数	2,400 人	1,625 人
啓発事業（主催・共催）実施件数	120 件	115 件

【名勝西山氏庭園の整備】（社会教育課）継続

名勝西山氏庭園について将来の公開・活用のために、全面公開にむけて、国・府の指導のもとで段階的に整備していきます。

令和 8 年度（2026 年度）は、令和 7 年度（2025 年度）中に修理が完了する離れ、洋館の公開、活用を進めるとともに、主屋の解体調査および高堀の一部、正門の修復を国補助による整備事業として実施します。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
主屋解体調査及び修復、高堀・正門修復	実施	—

㊸ スポーツの振興

【学校体育施設開放】（学校施設管理課）継続

市民が日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるように、学校教育に支障ない範囲において市立学校の体育施設を開放します。

到達指標	令和 8 年度目標	令和 6 年度実績
学校体育施設使用者数	増加	460,288 人

むすびに

令和 8 年度（2026 年度）における主な取組みは、以上のとおりです。設定した目標に向かって事業を検証しながら着実に取組みを進めます。また、「豊中市教育委員会公式 X（旧ツイッター）」を通じて適時に広くお伝えします。

今後とも、学校・家庭・地域の連携により、「豊かな夢を子どもたちに ともに描く学びと創造のまち とよなか ～大きな夢を抱いて ほがらかに生きよう～」の実現をめざします。